

はじめ、「こわいおしょうさん」と、とらえ、あとで親切になったと考えている。「みかんの木に札をかけた」ことのおもしろさ、それと、一郎たちとの関係に目をむけている。あとの二行で、こんなおしょうさんなら、ぼくも、もらいたいと自分に引き寄せて考えているのがほほえましい。

5 ㊸ 女子

おしょうさん、どうして みかんの木から、みかんをとっておいたのですか。みんなは、「あっ、おしょうさんに だまされた」と、いいましたよ。

でも おしょうさんは、さいしょは あんなにこわかったのに、今は、みかんをたべてもいいよとかいて、さいごには、すこしやさしくなったんだと わたしは おもいました。

本文から、引用して書いたのは、この子のほか2名である。自由に、もぎとって食べさせなかったことをとりあげている。親切心からもいでおいたのであろうか。「だまされた」と思わせるために、そうしたのではあるまい。ただ、もいで、かごに入れて、手紙を、のせておくということを知らずに、ぶんぶんしている一郎たちは、一層おもしろくは見えるだろう。

6 ㊸ 女子

おしょうさん お元気ですか。わたしは少し、かぜをひいています。でも 元気です。どうして、はじめ おこっているのをみせて、あとからあげたのですか。

わたしは、それと、もう一つしりたいことがあるのです。「ぬすんで食べたら すっぱい すっぱい」というのは、どういういみなのですか。わたしは、いっしょうけんめい考えましたが、わかりません。先生に、さされても こたえがでてきません。そのことを教えて くださいね。

それじゃおしょうさん お元気でね。ながいきしてください。

この子は、おしょうさんが、「おこっているのをみせて、あとからあげたこと」をとりあげている。これは、ほかの多くの子の気にしていること

である。また、「ぬすんで食べたら、すっぱい、すっぱい」の いみを問題にしている。「青いうち、或いは、熟さないうに食べたら、すっぱい」と違うのである。では、おしょうさんは、「ぬすんではいけない」と、言いたかったのであろうか。熟して、あまくなっても、ぬすんで食べたら、すっぱいと、言うことなのか。あときは、「ぬすんで食べるのだから すっぱい」いまは、待っていて、食べてよいと言われて食べるから、「甘い」ということなのであろうか。

7 ㊸ 女子

おしょうさん おげんきですか。わたしもげんきです。

なんで みかんの木の寺のおしょうと いうのですか。わたしは とてもばかばかしくて、わらいがとまりません。どこで というと、ときどき家でよむと、すごく すごく わらいが とまりません

すこし変わった感想である。「家でよむと、わらいがとまらない」というのである。「ばかばかしい」というのは、どういうことなのだろうか。

8 ㊸ 女子

おしょうさん 子どもがすきですか。みかんが もっとのこっていたら すこしくださいね。

おしょうさんは、何さいですか。わたしは八さいです。わたしがなっている先生は、〇〇先生です。わたしのともだちは、〇ちゃん、〇ちゃん、〇ちゃん、〇ちゃん、〇ちゃんです。

おてらには おぼうさんが いますか。

おしょうさん おてがみちょうだいね。わたしまっているからね。きつとだよ。

この感想は、角度が違うのである。内容の読みにはふれていない。

このほか、おこったり、やさしくしたわけ。ぼくにもみかんください。やさしいおしょうさんです。などの感想が多い。いずれも、部分についての感想であり、全体を読み通しての解釈、感想は、二年ではむずかしいことがわかる。